

令和3年度第1回健康計画推進委員会会議録

日 時	令和3年8月5日（木）13時30分～15時
場 所	北栄町役場 3階 第1委員会室
出席者	<p>椿原香委員 大西慶祐委員 松田真理子委員 天野亜理沙委員 岩本幸人委員 田中陽子委員 吉田三友規委員 楯身久美子委員 一二三満雄委員 財賀真由美委員 10人（欠席者6名） （事務局）吉岡課長、山口室長、塚本</p>
<p>4 委員長・副委員長の選任 立候補なし。事務局推薦 会長：岩本幸人（自治会長会代表） 副会長：田中陽子（老人クラブ連合会副会長） 任期：令和3年6月1日～令和5年5月31日（2年間）</p> <p>5 報 告 (1) 令和2年度特定健診結果及び各種がん検診の受診率推移【資料1】 大腸がん検診は受診率が上がったが、他のがん検診や特定健診は受診率が低下。 R2年度の特定健診受診率は暫定値。 がん検診で毎年がんの発見がある。がん検診受診を進めていく。</p> <p>(2) 健康計画5つの項目に対する行政の取り組み【資料2】 運動：スポーツクラブと連携し運動教室実施。夜間や運動強度を上げたことによって働き盛りの年代の参加が増えた。 食事：食生活改善推進員養成講座を実施（2年に1回）。こども園（園だより）や小学校（弁当の日）と連携して食育の推進をした。健康ポイントラリーで自主的な取り組みで野菜摂取を推奨。幼児の健診でもベジファーストを啓発。 心の健康：ゲートキーパー研修の実施。9月、3月の自殺対策強化月間等に町報で啓発、パネル展の実施。心の健康相談の窓口周知など実施 健診の充実：人間ドックの対象年齢を拡大。集団健診と医療機関健診のどちらでも受診可能。年度当初集団健診申し込みでも未受診の人には電話で受診勧奨。 生活習慣病の予防：子どものころからの良い生活習慣づくりで小学6年生に医師の講演会。中学3年生を対象にピロリ菌検査と除菌治療実施。コロナ感染症のため自治会での健康講座が減少。テレビ健康講座を実施。</p> <p>(3) 令和3年度の保健事業について【資料2】 令和2年度と同様に事業実施。 コロナ感染症拡大で自治会での健康講座が減少するため、健康講座は医師、理学療法士のテレビ健康講座も実施。</p> <p>○(1)～(3)に対して質疑なし</p> <p>(4) 各組織、団体での取り組みについて ・食生活改善推進員 コロナ禍で食生活改善推進員の伝達講習は訪問型啓発活動を実施。感染防止しながら実施できた。</p> <p>6 協 議 (1) 町民アンケート結果報告について ・町民アンケート結果【資料3-1・3-2】 各項目について H29 のアンケートとの比較で改善、悪化の概要を説明 （アンケート用紙が A3 の中折だったため、内側に気づかず未記入で提出された人が</p>	

多かったので問 13～問 21 については未記入を除いて集計している。）

- ・眠りにつく時間は 23 時までの就寝が減少した。
- ・不安・悩み・ストレスについては多いにある人が男性の 30 歳代、女性 20 歳代で減少
- ・心の相談窓口を知っている割合が 10%増加
- ・家庭血圧を測る習慣は男女ともに増加
- ・朝食を毎日食べる人は、男女ともにわずかに増加。ほとんど食べない人も増加した
- ・野菜摂取は 350g 食べる人は全体の 17.9%であった。
- ・運動については運動を意識する人、1 日 30 分以上運動する人が増加した。
- ・喫煙は R3 年度の目標値を達成したが、引き続き禁煙の支援は必要。
- ・飲酒は毎日飲酒する人が増えた
- ・夕の歯磨き率や歯科健診の受診率が高くなった

○意見交換

(各委員より)

- ・農業の町で野菜摂取が少ないことに驚いた。食生活改善推進員として何かできることをしたい。
- ・小学校の保健室で体調が悪い子に聞くと朝はパン(食パンや菓子パン)とお茶しか食べてこない子がいる。野菜も果物も食べていない。朝食や野菜を食べる工夫を伝えていくことが必要。
- ・目標値に対して悪化や改善の表示がわかりにくい。
- ・歯磨きはどのタイミングでするのがいいのか歯科医に聞いてみたかった。
- ・フッ化物洗口をしているが、効果をどう感じているか。
- ・歯磨きをしていない人がいる、若い人でもしていない人があり、驚いた。
⇒高齢者で総入れ歯などで、歯磨きをしないと回答した人もあった。歯磨きについては啓発を続けていきたい。
- ・血圧が高くても嫌がって測定しない人もある。血圧測定が自治会や図書館など身近な場所で測定できるような環境にしてほしい。
⇒数年前に全自治体に血圧計を配布したが、故障して買い換えた自治会もある。今の自治会での活用状況は不明
- ・ストレスについては全体で見るとはではなく、年代や性別によって差がある。30歳代～50歳代の女性ではストレスが多い高齢者でストレスが多い人が少ないため一緒に集計すると改善したようになっている。細かい分析と対策が必要。
⇒分析の際に、注意したい。

(2) 健康ほくえい計画 見直しと素案について

- ・スケジュールについて説明【資料 4-1】
- ・健康計画 5 項目について説明【資料 4-2】
新しい計画の構成
①現状と課題、②目指す姿、③今後の方針、④評価指標、⑤取り組み
⑤の取り組みの詳細:個人でできること、地域団体でできること、行政でできること
- ・現在の計画の指標の推移【資料 4-3】
町民アンケート、教育委員会アンケート、健診結果等
目標値は R3 年度の目標値

○意見交換

(各委員より)

- ・小学3年生で23時以降に寝る子どもがいる。原因は何か。
⇒本町のアンケートは原因については調査していない。全国調査では若い人が就寝時間遅くなる原因はスマホやタブレットの使用と言われている。

(委員より)

北栄町でも以前から夜の9時にオンラインゲーム上で集合してゲームする子どももあった。
家庭内でスマホやタブレットのルールを決めることが必要。

- R2 年のアンケート結果で目標値を達成しているものもある。目標値の設定についてはどうしているか

⇒計画作成時(H24)の目標値を示している。新しい目標値は今後検討する。

*その他

会議内容の録音と議事録のホームページアップについて了承を得る
次回は10月中に第2回委員会開催予定